

プラスチック加工における留意事項

銀系無機抗菌剤「ゼオミック」は無機粉末ですので、無機顔料と同様の取り扱いで広範囲の樹脂へ容易に練り込み加工することが可能です。実績としては、PE、PP、PS、AS、ABS、PC、POM、PVC、PET、PBT、ポリアミドなど様々な樹脂があります。また、フィルムのような薄い材料への練り込み加工も可能で、その高い安全性から食品用などの各種包装材料へ使用されています。(米国EPA・FDA認可グレードあり)

分散性

ゼオミックの抗菌メカニズムは、ゼオミック粒子と菌の直接的接触による抗菌作用によるものです。したがって、樹脂成型品中に**ゼオミック粒子を均一に分散させることにより良好な抗菌性能が得られます**。ゼオミックを均一に分散させるために、下記のふたつの方法をご検討下さい。

①分散材の使用

顔料に使用する分散剤(ステアリン酸マグネシウム等の金属石鹸)を使用することが有効です。分散剤については、ゼオミックの各品番によって相性がございますので、お気軽にご相談下さい。

②マスターバッチ・コンパウンドの使用

ゼオミックの平均粒径は2~3 μm と微粒子です。粉末のままプラスチック材にドライブレンドして使用するよりも、あらかじめゼオミックを高濃度に含有させたマスターバッチ(濃度は通常10~30%)を、使用時に所定の濃度に希釈するか、最終添加濃度に調整したコンパウンドでご使用頂くことをお勧めします。

*当社ではゼオミックを含有したマスターバッチをご用意しておりますのでお気軽にご相談下さい。(一部対応が出来ない樹脂もございます)